

2022年度 第3四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

受注量・受注見通しともに、全体的に大きな変化はなかったものの、7業種のうち5業種で前回比DI値が低下した。また、受注単価についても、前回調査時から「上昇」と回答した企業の割合が低下した。資金繰りについては、全体的に大きな変化はなく、採算状況についても、前回同様に黒字企業が3割を下回る状況が続いている。また、受注余力については、「受注余力あり」とする企業の割合が若干増加した。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 「不変」と回答した企業の割合が4割を上回るなど、全体的に大きな変化はなかった。
- (2)受注見通し : 前回に引き続き慎重な見通し。
- (3)受注単価 : 前回調査時から「上昇」と回答した企業の割合が低下した。
- (4)資金繰り : 全体的に大きな変化はなく、7業種全てでDI値がマイナスとなった。
- (5)採算状況 : 全体的に大きな変化はなく、黒字企業が3割を下回る状況が続いている。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が65.6%と、前期と比較して2.7%の増加となった。
(「受注余力あり」とする企業の割合が増加した=マイナス傾向)

<分析>

調査対象企業のうち26社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。今回の調査では、「受注量」「受注見通し」「資金繰り」「採算状況」「受注余力」の5項目で前回比DI値が±3.0ポイント以内となるなど、全体的に前回調査時から大きな変化はなく、府内受注企業の景況は横ばい傾向で推移している。

近年好調であった半導体関連では、引き続き堅調に受注を確保する企業が多く見られる一方、先行投資による需要集中の反動等により受注量が減少してきたとする声も一部で聞かれ始めている。また、自動車業界のサプライヤーについては、感染縮小に伴う生産の再稼働等により受注量が持ち直し傾向にある企業と、未だに生産調整の影響で受注が停滞している企業が混在しており、メーカーや車種によって受注動向に大きな差がある様子。

非鉄金属等の原材料価格については、度重なる値上げの波は落ち着いてきたものの、高止まりの状況が続いており、今後も価格転嫁による利益確保が府内中小企業にとっての課題となっている。

今後については、移動規制の緩和等による経済活動の正常化が期待されるものの、中国の感染再拡大の影響に加え、人手不足や人件費の増加、なおも続くエネルギー価格高騰による収益環境の悪化などが懸念される。

(注) 本報告書で使用するDIとはデフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2022年10月～12月
(2022年12月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 258社 (回答率 86.0%)

公益財団法人 **京都産業21**

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2022年12月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

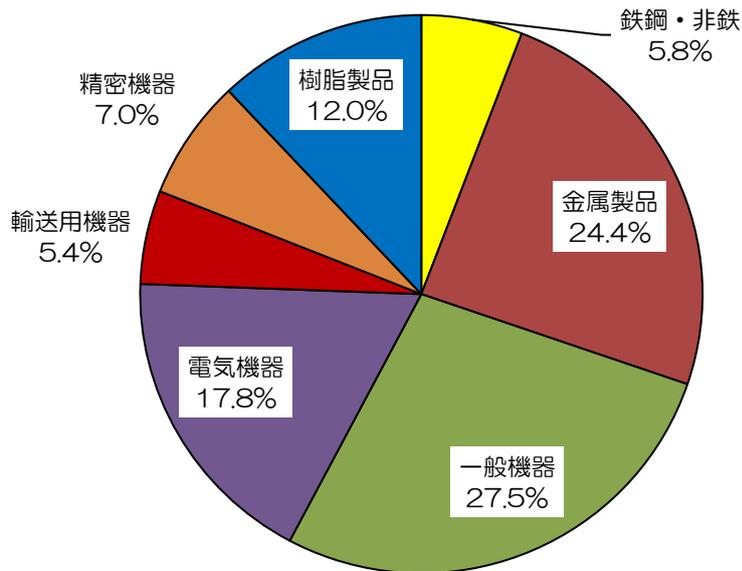
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	258社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	15社	(5.8%)	
金属製品関係	63社	(24.4%)	
一般機器関係	71社	(27.5%)	
電気機器関係	46社	(17.8%)	
輸送用機器関係	14社	(5.4%)	
精密機器関係	18社	(7.0%)	
樹脂製品関係	31社	(12.1%)	
④ 回答率	86.0%	[前回：85.7%]	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 1.9%		1 1.6%		1 2.2%			3 9.7%
~300万円	18 7.0%		7 11.1%	2 2.8%	3 6.5%	2 14.3%	1 5.6%	3 9.7%
301~999万円	11 4.3%		3 4.8%	6 8.5%				2 6.5%
1000~2000万円	146 56.6%	8 53.3%	37 58.7%	44 62.0%	26 56.5%	4 28.6%	12 66.7%	15 48.4%
2001~5000万円	57 22.1%	5 33.3%	14 22.2%	14 19.7%	11 23.9%	3 21.4%	4 22.2%	6 19.4%
5000万円超	21 8.1%	2 13.3%	1 1.6%	5 7.0%	5 10.9%	5 35.7%	1 5.6%	2 6.5%
合 計	258 100%	15 100%	63 100%	71 100%	46 100%	14 100%	18 100%	31 100%

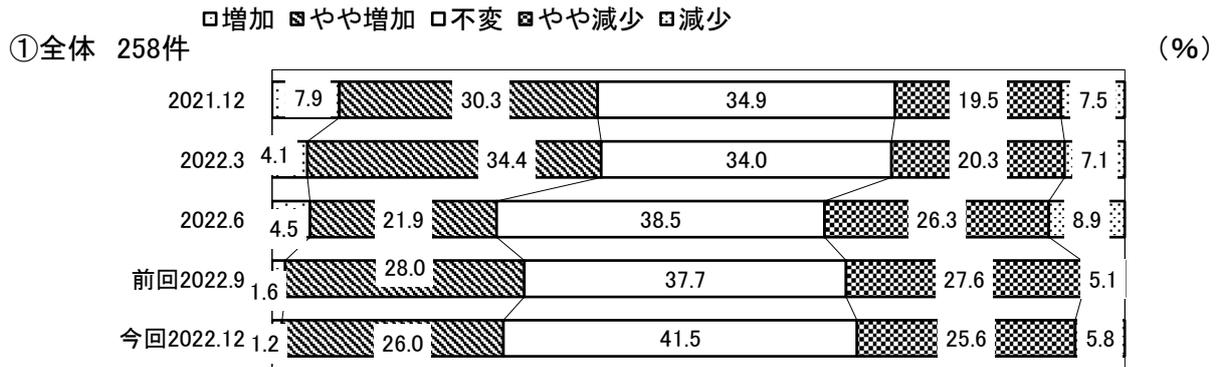
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

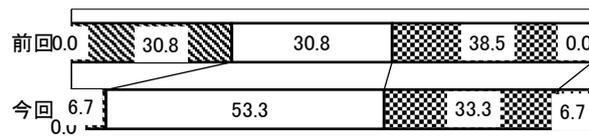
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	19 7.4%	2 13.3%	3 4.8%	6 8.5%	5 10.9%			3 9.7%
6~10人	29 11.2%	1 6.7%	5 7.9%	8 11.3%	5 10.9%	2 14.3%	4 22.2%	4 12.9%
11~20人	70 27.1%	2 13.3%	18 28.6%	24 33.8%	11 23.9%	1 7.1%	5 27.8%	9 29.0%
21~30人	36 14.0%	3 20.0%	14 22.2%	11 15.5%	3 6.5%	1 7.1%	1 5.6%	3 9.7%
31~50人	43 16.7%	4 1.0%	10 15.9%	10 14.1%	9 19.6%	3 21.4%	4 22.2%	3 9.7%
51人以上	61 23.6%	3 20.0%	13 20.6%	12 16.9%	13 28.3%	7 50.0%	4 22.2%	9 29.0%
合 計	258 100%	15 100%	63 100%	71 100%	46 100%	14 100%	18 100%	31 100%

3. 調査結果

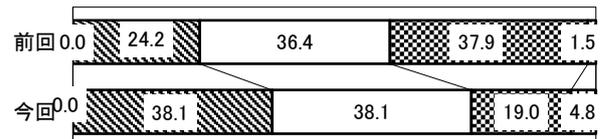
(1) 受注量について



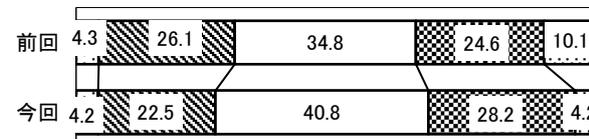
②鉄鋼・非鉄 15件



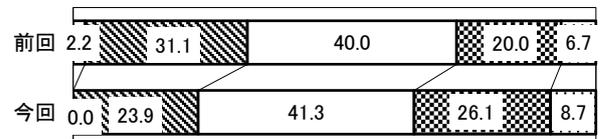
③金属製品 63件



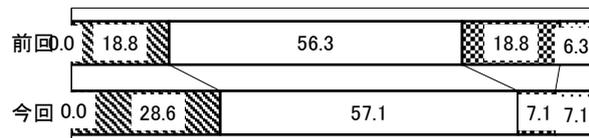
④一般機器 71件



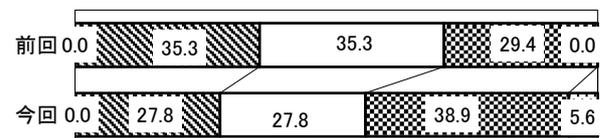
⑤電気機器 46件



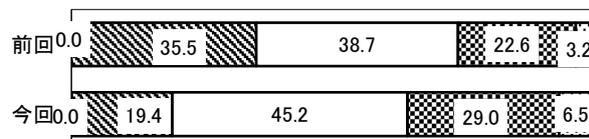
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 18件



⑧樹脂製品 31件



○全体

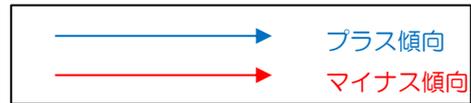
・10月～12月期の受注量の業況判断DI（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲4.2となり、前期（7月～9月期）のDI値▲3.1と比べ1.1ポイント低下と、前回調査時から大きな変化はなかった。

○業種別

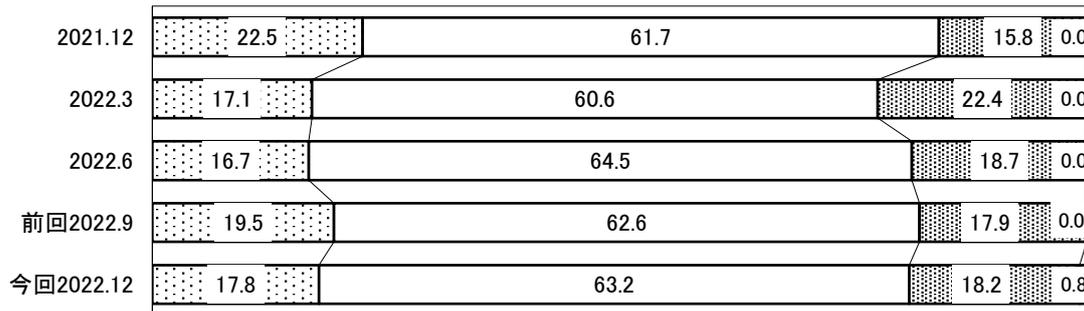
・DI値は、輸送用機器（14.4）、金属製品（14.3）の2業種でプラスとなり、一般機器（▲5.7）、電気機器（▲10.9）、樹脂製品（▲16.1）、精密機器（▲16.7）、鉄鋼・非鉄（▲33.3）の5業種でマイナスとなった。

・DI値を前回と比較すると、金属製品（29.5ポイント）、輸送用機器（20.7ポイント）の2業種で上昇。一般機器（▲1.4ポイント）、電気機器（▲17.5ポイント）、精密機器（▲22.6ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲25.6ポイント）、樹脂製品（▲25.8ポイント）の5業種で低下している。

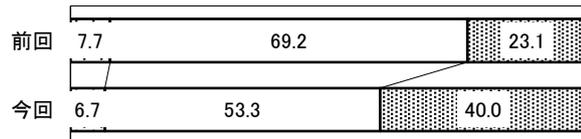
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



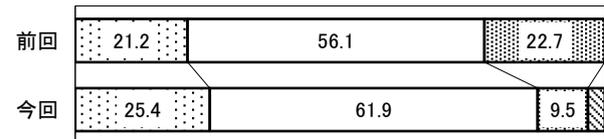
①全体 258件 □増加 □不変 □減少 □不明 (%)



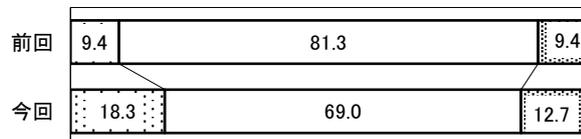
②鉄鋼・非鉄 15件



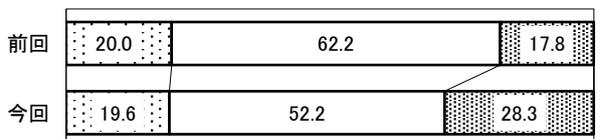
③金属製品 63件



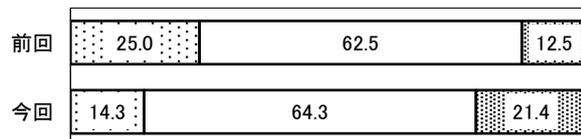
④一般機器 71件



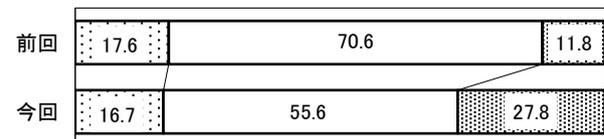
⑤電気機器 46件



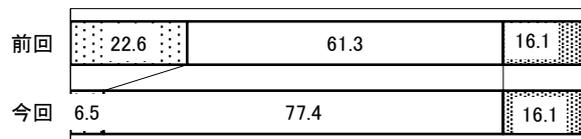
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 18件



⑧樹脂製品 31件



○全体

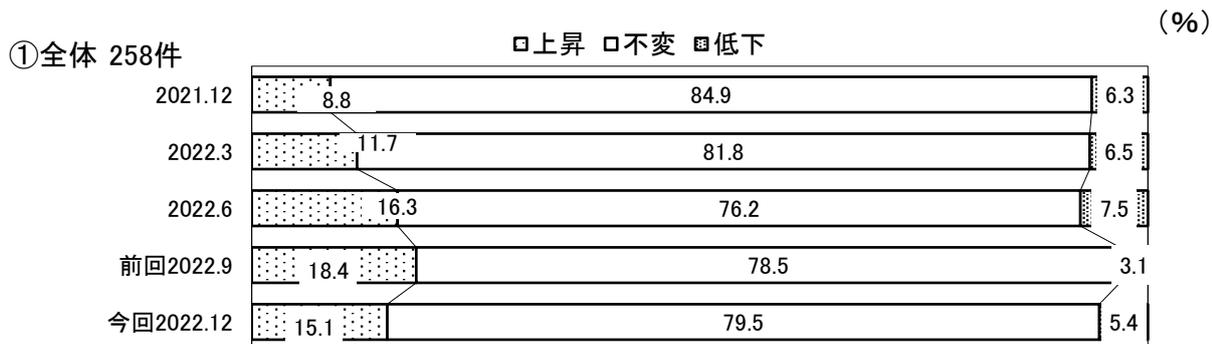
・次期(1月~3月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲0.4となり、前期(7月~9月期)調査時のD I値1.6と比べ2.0ポイント低下と、前回に引き続き慎重な見通し。

○業種別

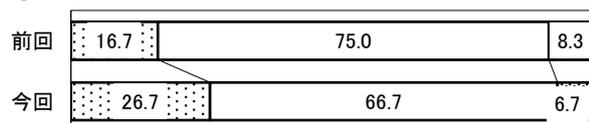
・D I値は、金属製品(15.9)、一般機器(5.6)の2業種でプラス。輸送用機器(▲7.1)、電気機器(▲8.7)、樹脂製品(▲9.6)、精密機器(▲11.1)、鉄鋼・非鉄(▲33.3)の5業種でマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると、金属製品(17.4ポイント)、一般機器(5.6ポイント)の2業種で上昇。電気機器(▲10.9ポイント)、樹脂製品(▲16.1ポイント)、精密機器(▲16.9ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲17.9ポイント)、輸送用機器(▲19.6ポイント)の5業種で低下している。

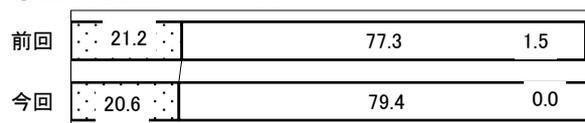
(3) 受注単価について



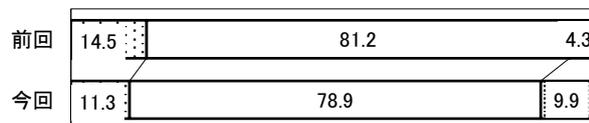
②鉄鋼・非鉄 15件



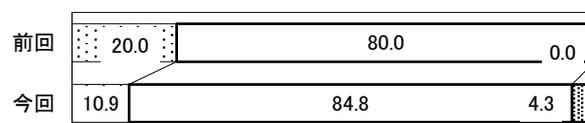
③金属製品 63件



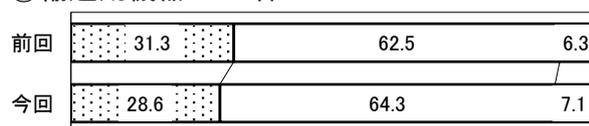
④一般機器 71件



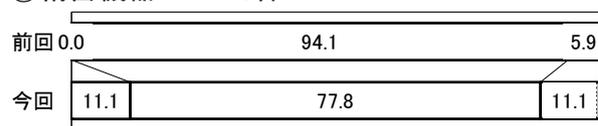
⑤電気機器 46件



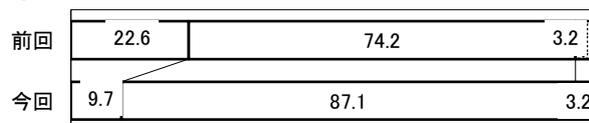
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 18件



⑧樹脂製品 31件



○全体

- ・10月～12月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は9.7となり、前期（7月～9月期）のD I値15.3と比べて5.6ポイント減少と、前回調査時から「上昇」と回答した企業の割合が低下した。

○業種別

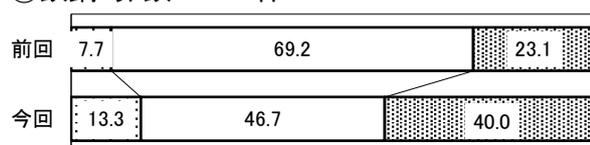
- ・D I値は、輸送用機器（21.5）、金属製品（20.6）、鉄鋼・非鉄（20.0）、電気機器（6.6）、樹脂製品（6.5）、一般機器（1.4）の6業種でプラスとなり、精密機器の1業種のみ±0となった。
- ・D I値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄（11.6ポイント）、精密機器（5.9ポイント）、金属製品（0.9ポイント）の3業種で上昇。輸送用機器（▲3.5ポイント）、一般機器（▲8.8ポイント）、樹脂製品（▲12.9ポイント）、電気機器（▲13.4ポイント）の4業種で低下している。

(4) 資金繰りについて

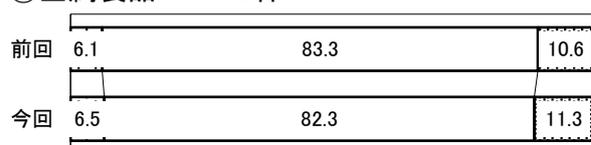
①全体 257件



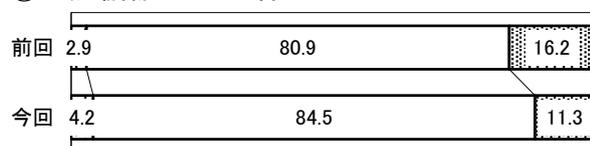
②鉄鋼・非鉄 15件



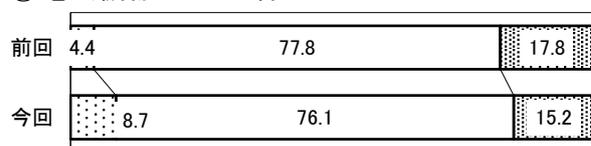
③金属製品 62件



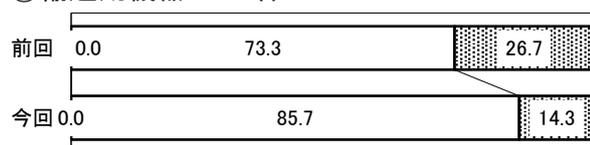
④一般機器 71件



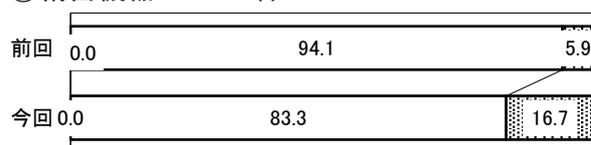
⑤電気機器 46件



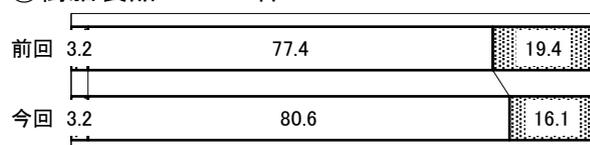
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 18件



⑧樹脂製品 31件



○全体

・10月～12月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲11.7となり、前期（7月～9月期）のD I値 ▲11.8と比べて0.1ポイント上昇と、全体的に大きな変化はなかった。

○業種別

・D I値は、金属製品（▲4.8）、電気機器（▲6.5）、一般機器（▲7.1）、樹脂製品（▲12.9）、輸送用機器（▲14.3）、精密機器（▲16.7）、鉄鋼・非鉄（▲26.7）の7業種全てでマイナスとなった。

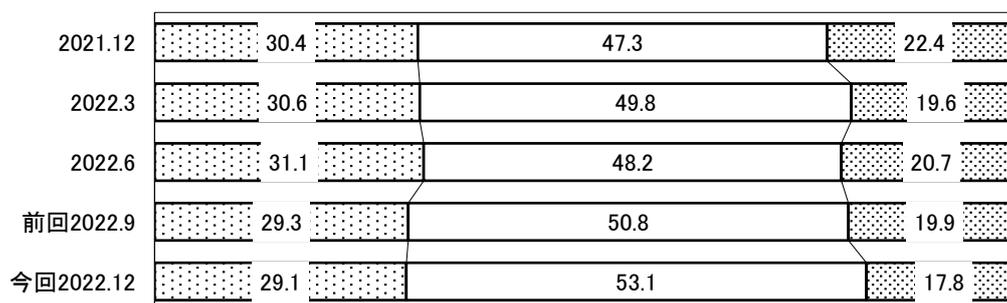
・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（12.4ポイント）、電気機器（6.9ポイント）、一般機器（6.2ポイント）、樹脂製品（3.3ポイント）の4業種で上昇。金属製品（▲0.3ポイント）、精密機器（▲10.8ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲11.3ポイント）の3業種で低下している。

(5) 採算状況について

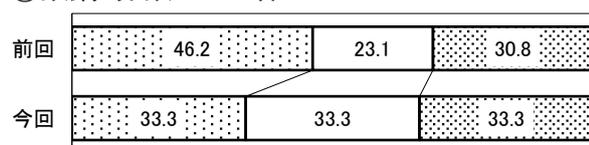
①全体 258件

□黒字 □収支トントン □赤字

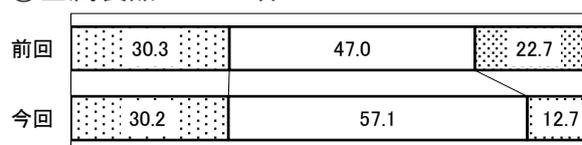
(%)



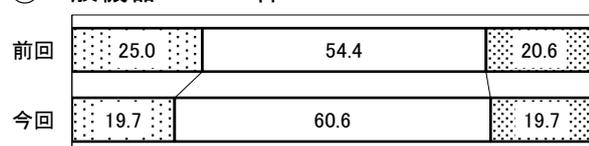
②鉄鋼・非鉄 15件



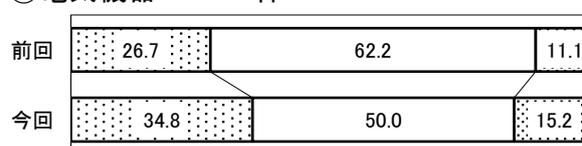
③金属製品 63件



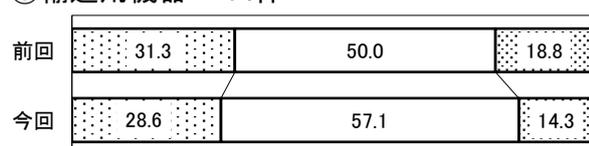
④一般機器 71件



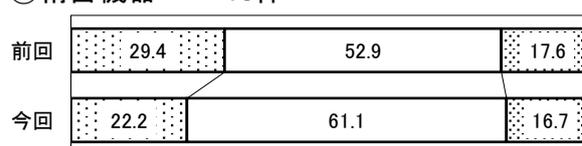
⑤電気機器 46件



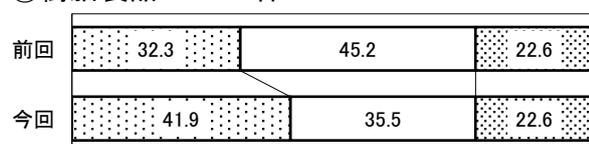
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 18件



⑧樹脂製品 31件



○全体

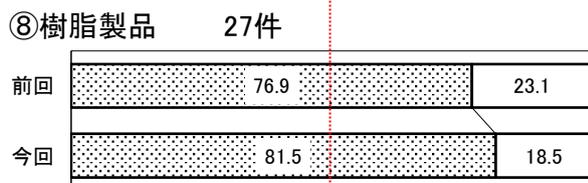
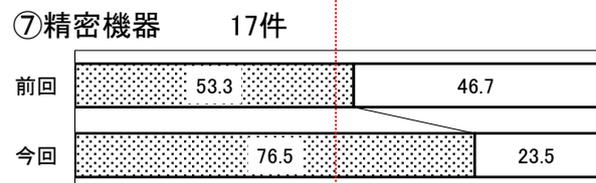
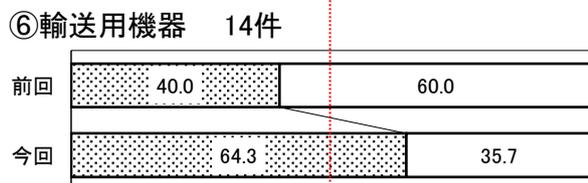
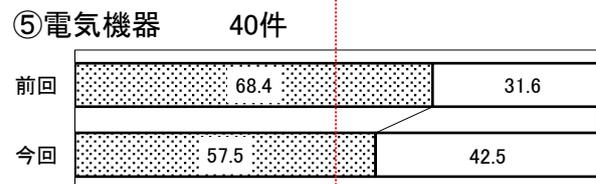
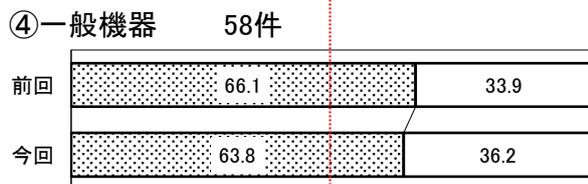
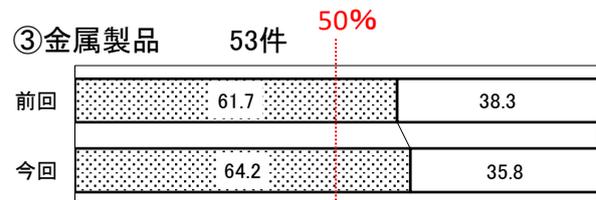
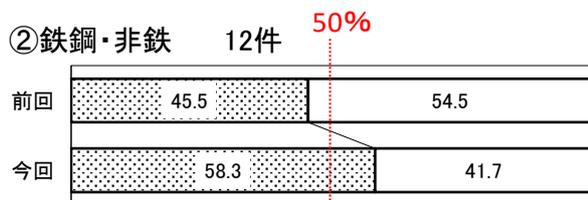
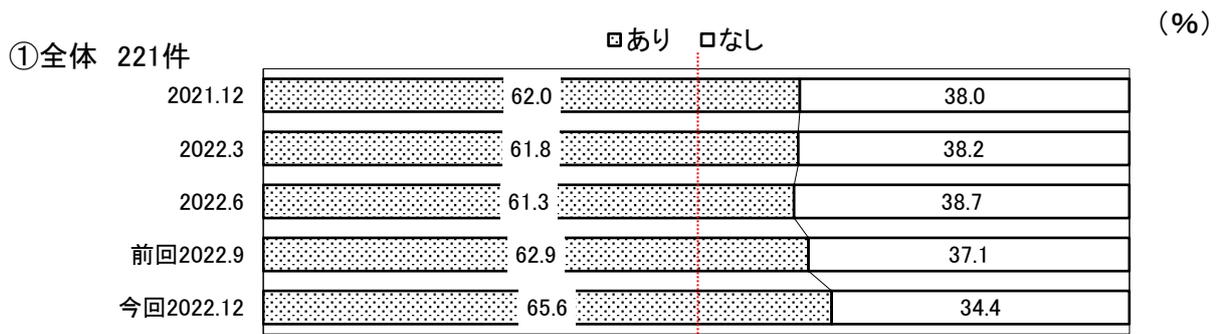
・10月～12月期の採算状況の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は11.3となり、前期（7月～9月期）のDI値9.4と比べ1.9ポイント上昇と、全体的に大きな変化はなく、前回同様黒字企業が3割を下回った。

○業種別

・DI値は、電気機器（19.6）、樹脂製品（19.3）、金属製品（17.5）、輸送用機器（14.3）、精密機器（5.5）の5業種でプラスとなり、鉄鋼・非鉄、一般機器の2業種で±0となった。

・DI値を前回と比較すると、金属製品（9.9ポイント）、樹脂製品（9.6ポイント）、電気機器（4.0ポイント）、輸送用機器（1.8ポイント）の4業種でプラスとなり、一般機器（▲4.4ポイント）、精密機器（▲6.3ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲15.4ポイント）の3業種でマイナスとなった。

(6) 受注余力について



○全体

・10月～12月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は31.2となり、前期（7月～9月期）のD I値25.8と比べ5.4ポイント上昇した。

・10月～12月期は「受注余力あり」とする企業が65.6%と、前期と比較して2.7%の増加となった。

（「受注余力あり」の割合が増加した＝マイナス傾向）

○業種別

・D I値は、樹脂製品（63.0）、精密機器（53.0）、輸送用機器（28.6）、金属製品（28.4）、一般機器（27.6）、鉄鋼・非鉄（16.6）、電気機器（15.0）の7業種全てでプラスとなった。

・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（48.6ポイント）、精密機器（46.4）、鉄鋼・非鉄（25.6ポイント）、樹脂製品（9.2ポイント）、金属製品（5.0ポイント）の5業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。一般機器（▲4.6ポイント）、電気機器（▲21.8ポイント）の2業種で前回比マイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少した。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail : market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp

